



5月12日、普天間基地問題や雇用、くらしの問題などを街頭で訴え



3月11日、保育制度の維持、拡充を求め、福祉保育労などと市役所前で座り込み



5月1日、メーデーに参加

先の知事選挙での「いのちの平等」「くらし・ふるさと再生」の訴えは、多くの人々の共感をよび、府民の切実な願いであることが浮きぼりになりました。こうしたもとで山田知事も、「雇用を最重点に」「子どもの医療費を小学生中心に拡充」「私学高校生授業料所得五百万円以下の無償化」を掲げるなど、府民の世論と運動が府政を動かす力であることを示しています。

府民のみなさんと力あわせ、いのち・くらし、雇用と営業、ふるさとを守るため全力で頑張ります。

二〇一〇年五月 日本共産党京都府会議員団

●●目次●●

- P2 ▶ 2月定例議会代表質問 かみね 史朗
- P4 ▶ // 一般質問 新井 進
- P5 ▶ // 一般質問 まえくぼ 義由紀
- P6 ▶ // 一般質問 さこ 祐仁
- P7 ▶ 京都地方税機構議会の審議 まえくぼ 義由紀
- P8 ▶ 予算特別委員会 知事総括質疑 西脇 いく子
  - ▶ // 書面審査 主な質問項目
- P9 ▶ // 知事総括質疑 松尾 孝
- P10 ▶ 2月議会 議案討論 梅木 のりひで
  - ▶ // 意見書・決議案討論 山内 よし子
- P11 ▶ // 請願の審査と陳情の紹介
  - ▶ // 意見書・決議案の採決結果
- P12 ▶ 5月臨時議会以後の新しい所属委員会の紹介

日本共産党京都府会議員団

# 府会だより

2010年  
2月定例議会  
5月臨時議会

編集・発行／日本共産党京都府会議員団  
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府議会内  
TEL 075(414)5566 FAX 075(431)2916  
e-mail giindan@jcp-kyotofukai.gr.jp  
http://www.jcp-kyotofukai.gr.jp/

発行責任者／松野 好秀

Spring 2010 No.305

## 代表質問

2月9日

かみね 史朗 議員  
(京都市右京区)

## 山田知事の8年間、きびしく追及

ひとつ・いのちを大切に  
府政の実現を

かみね史朗議員は、二月九日の府議会本会議で代表質問に立ち、知事選の出馬表明を行なった山田知事に対し、二期八年の府政運営が「構造改革」を推進し格差と貧困、地域の疲弊を広げたと批判。切実な府民の声や実態を示し、経済・雇用、社会保障・教育、地方自治再生の三点で、ひとつ・いのちを大切にすることを政策転換を迫りました。

中小企業応援、固定費補助、  
住宅改修助成制度創設を

かみね議員は、質問の最初に、大企業・ベンチャー中心から中小企業を応援する経済政策に転換し、大企業が雇用と地域経済を守る社会的責任を果たすルールを確立すること、また倒産・廃業の危機にある町工場支援のための電気代・家賃・機械リース代などの固定費助成や、仕事おこしのための住宅改修助成制度を実施するよう要求しました。また、府が金融機関に制度融資を丸投げにしていることを厳しく批判。府が責任を持つように改善を求めました。

知事は「中小企業応援に全力をあげて総合的な対策を講じてきた」とまともにも答えず、固定費補助についても、新製品開発など対象が限られた制度の実施を述べるとどまりま

トステム綾部工場閉鎖問題  
無責任な態度に終始

府営工業団地にある「トステム」綾部工場の閉鎖問題では、退職願を出さなければ再就職のあつせんをしないなど、労働者が不当に転籍や退職を強要されている事実を示し、「違法な退職強要はやめさせるべき」と追及しました。

ところが知事は、「コンプライアンスの徹底を強く要請してきた」「個々の具体的な法令違反は然るべき機関が行なうべき。はつきりとしたことを申し上げるのは控える」と無責任な態度をとりました。

## 社会保障と教育政策の転換を

かみね議員は、貧困と格差の拡大で医療が



## 質問を終えて

トステムが3月25日で綾部工場を閉鎖し、正社員60人、非正規社員206人の解雇を強行しました。グループ全体で今年3月末に経常利益260億円を予測するなど工場閉鎖しなければ経営が成り立たないわけではなく、整理解雇の4要件に照らしても違法性の疑いの濃厚な解雇です。労働者のたたかいと府議団の論戦によって、知事がトステム本社に工場の継続と雇用維持を要請せざるをえなくなるなど府政を大きく動かしましたが、大量解雇を止めることができませんでした。解雇されたすべての労働者が最後の一人まで就職できるようトステムに責任をとらせなければなりません。そして、大企業の身勝手な解雇を規制するルールを今こそ確立しなければならぬと思います。 **【かみね史朗】**

受けられない人が急増していることを具体例をあげて指摘。無料低額医療の拡充が求められているときに、府立病院で減免制度が全く適用されていないことを追及、府の冷たい姿勢を糾しました。

## 子どもの医療費 入院も通院も 小学校卒業まで無料化を！

「子どもの医療費を無料に。高齢者の医療費の軽減を」と知事に対する署名運動が全国的に広がりました。かみね議員は子育て真っ中の若いお母さんたちと懇談した内容を紹介、子どもが病気をしたときにお金の心配なく医療が受けられるようにしてほしいとの願いは切実と指摘し、府の制度として、子どもの医療費窓口負担を入院も通院も、小学校卒業まで無料化すべきと求めました。

知事は府の制度は「全国トップクラス」と

強弁。引き続き検討していくと答えるにとどまりました。

## 私立高校授業料無償化

## 学校負担なくし年収五百万円まで無償化を

かみね議員は、府が二〇一〇年度に行なうとしている年収三百五十万円未満世帯の私立高校授業料無償化の対象者が、全体の二・八％にすぎないことを指摘し、五百万円まで対象を広げることを要求。また、府外の私立高校へ通う高校生への学費助成を復活させるよう求めたのに対し、知事は「大阪府と滋賀県が相次いで助成を廃止する中で、現在の取り扱いに至った」と高校生への差別的扱いを押しつける姿勢でした。

## 地域支える自治の力奪った

## 市町村合併

また、知事が押しつけた市町村合併により、住民が苦しめられている実態を指摘。これに対して知事は「笠置町など、合併していない自治体でも財政は大変。市町村の協議が難航すれば調整するのが府の役割」と居直りました。

## 普天間基地問題

## 知事は「無条件撤去」を求めよ

平和の発信の問題では、沖縄辺野古への米軍基地移転問題を取り上げ、かつて蜷川知事が東京都の美濃部知事と共同で「沖縄に完全自治を」とアピールを發した事を紹介。いま京都府が同様の発信をすべきと求めました。



3月23日、「みんなのあんしん医療署名」第3次提出（49,219筆）に同席

その他、後期高齢者医療制度の廃止、保険料の値上げ完全にストトップを。障害者自立支援法の廃止。競争激化、学校統廃合すすめる府立高校の包括外部監査の問題などを取り上げました。

最後に、かみね議員は「府民の願いに応えよう」として知事の姿勢がはっきりした。『ひと・いのちが大切にされる府政』に変えなければならぬ」と府政転換への決意を述べました。

## 質問を終えて

### 議会は知事の付属物か？

「関西広域連合」設立案と「今年中に」とスケジュールを関係知事との間で決めた知事に、「議会無視ではないか」と質問。知事は「議会ですっかりと議論していただくことが重要」と答えましたが、知事のやり方は、どんどんことを進めておきながら、「議会はついて来い」「議会に邪魔されたくない」というものです。ここには「議会」を行政機関の付属物かのようにみる考えがあらわれています。大阪知事が、自ら地域政党をつくり、自分の意のままになる議会をめざし、名古屋市長が、「議員定数は半分に」と、「議会は市長の邪魔するな」とするのと似たようなものです。議会の役割を否定する首長に「地方自治を語る資格があるのか」と思ってしまいます。

〔新井 進〕

## 関西広域連合

### 破たんは明白。知事は中止を

新井進議員は、「関西広域連合」設立計画について、府議会の特別委員会で多くの異論が出され、「反対」「再検討」を表明しているにもかかわらず、山田知事も参加した一月の関西府県知事の会議で「設立案」を決め、「年内に設立」としていることは議会無視だと厳しく指摘。関西財界と大阪の橋下知事は、「関西広域連合」からスタートして「関西州」へ進み、大阪湾のベイエリア再開発などの構想をあげすけに示しており、それに追随するものと批判しました。そして、奈良県や福井県や三重県も留保しており、政令市も参加しないなど、すでに破たんが明白になっていることを示し、「関西広域連合」づくりは中止せよと知事を追及しました。

これに対し知事は、「議会と協議しながら進めていく」と、あくまで推進する姿勢を示しました。

## 府内林業の振興へ

### 府内・国内産材の活用計画と供給・活用の仕組みを

国土や地球環境の保全と同時に、地域に根ざした地場産業であり農村の再生に欠かすことができないのが林業の振興です。府内林業は、この十五年間に生産額は三分の一、人工林の三分の一が放置林となり山林労働者も激減しています。

新井議員は、こうした事態を打開するため、木材需要の拡大・外材依存から国産材への転換や森林組合、



## 12万筆を超える署名に 応えて

みつなが 敦彦(京都市左京区)

「あんしん医療署名」等が短期間に12万筆を超えて集まりました。府民の声が政治を動かすとはこのことで、山田知事の Manifesto にも、子どもの医療費について「小学校を中心に拡充する」と書かれました。いつ、どんな内容で実施するのかわかりませんが、さらなる運動の広がりにつながった議会の論戦で、府政を前に、政治を前にすすめる必要性が浮き彫りとなっています。

一方、国民健康保険の都道府県単位の一元化が知事に最終報告として提出されました。高すぎる国保料、無保険問題など、解決すべき課題が山積する中、その矛盾と負担を住民におしつける姿勢は全く許せません。6月議会で徹底追及です。

山林労働者への支援等、積極的な対応をと求めました。

新井議員が提案した、需要拡大についての提案は次の三点です。

第一 京都府が公共施設等への府内産木材の活用を積極的にすすめるため、「活用計画」を策定すること。

第二 一時的に大量の木材が必要となり乾燥処理も必要な公共施設の建設に対応できるよう森林組合等と協力しストックヤードの設置をすすめることや、建設の契約に際しては第一年度に発注を行い、実際の工事は第二年度に契約する「二段階発注方式」の採用。

第三 北山磨き丸太が、府の「緑の交付金事業」の対象に「事実上ならない」点の改善と、京都市と協力し、「北山林業地再生緊急対策」の実施を。

## 一般質問

2月15日

まえくぼ 義由紀 議員  
(宇治市・久御山町)

## 永住外国人の地方参政権

国待ちでなく遅れた法整備に  
意見表明を

まえくぼ義由紀議員は、永住外国人が住民自治の担い手となることについて、憲法の地方自治の精神とも合致することを述べ、党が以前発表した提案を紹介した上で「国まかせでなく、地方から積極的に法整備を求めるべき」と迫りました。

知事は、「国の立法政策に委ねられている」と、国にもものを言う姿勢を示しませんでした。

また、十一府県、十五政令市が一般職へ

の国籍条項を撤廃しており、京都府も撤廃すべきと求めました。

## 府南部地域の医療体制

夜間・休日救急の「輪番制」再構築へ  
府がリーダーシップを発揮すべき

深刻となる府南部地域の小児救急、産科などの医療体制については、「少ない医師数で何とか救急医療を維持している」などの実態を紹介し、過剰な負担が集中しないよう府がリーダーシップを発揮せよと求めました。

健康福祉部長は「輪番制など二次救急を含む救急医療体制の一層の充実を図る」と答弁。まえくぼ議員は、「輪番制」の再構築には、財政支援も重要とし、「男山病院や八幡中央病院の医師確保、救命センターの役割を果たしている宇治徳州会病院への援助など、しっかり役割を果たすべき」と求めました。

## 城陽の山砂利採取地問題

業者任せにせず、  
産廃撤去計画を示せ

いまだ未解決となっている城陽市の山砂利採取地問題では、府が住民に対し、産廃の撤去計画、再発防止策を示し、住民への説明責任を果たすべきであり、そのことがない限り残土等の搬入は一時凍結すべきと知事に迫りました。

文化環境部長は、「自主撤去の促進」と答弁し、業者まかせの姿勢を示しました。

「これでは私学で  
まなび続けられない!!」

山内 よし子 (京都市南区)



Aさんは母子家庭で生活保護を受給。子どもさんは私立高校に通っています。ところが「低所得者は私学が無償になる」という理由で、これまで月2万円近く出されていた奨学金が、4月から支給されなくなりました。

不安になったAさんから相談を受け、4月1日に一緒に府庁に行きました。担当課長は「私立高校にしっかりお願いしていく」とのことでしたが、無償化の保障がありません!! 学校まかせの制度ではなく、府が責任を持つ制度にしなければなりません。

その後も「350万円以下は無償だと思っていたが、前期の授業料はいったん納めなければならなかった」など、府議団に相談が相次いでいます。

さらに改善を求めてがんばります。

せっかくの不況対策予算  
中小零細企業にこそまわせ

原田 完 (京都市中京区)



2月議会で取り上げた、スクールニューディール問題が知事選挙の大きな争点となりました。

中小業者が厳しい経営環境にあるもとで、政府の緊急経済対策で京都府に約4億円のお金が入ってきました。この予算を使った学校設置のデジタルテレビ入札を府が一括入札を強行したため、東京の本社にある企業が落札し、せっかくのお金が京都で循環することなく東京に流れてしまいました。

私はこの問題を予算委員会で厳しく追及し、残りの3億5千万円については、分割発注を含め再検討させるに至っています。

せっかくの予算を、不況で苦しむ中小業者の仕事起し、京都経済活性化の一助となるよう、引き続き、官公需の中小業者発注を高めるため、業者の皆さんと力を合わせて頑張ります。

## 一般質問

2月16日

さこ 祐仁 議員  
(京都市上京区)

## 税機構は納税者保護を厳格に守れ

京都府と（京都市を除く）25市町村が共同して昨年設立された税の滞納を処理する京都地方税機構が、4月1日から本格稼働。「徴収率向上のみを目的とした違法な徴収・滞納整理を中止せよ」「納税者の実情に即した納税緩和措置を適用せよ」と3月29日に京都府商工団体連合会（京商連）が行った請願申入れにまえば議員と私も参加しました。

機構側は「請願の主旨、法律に則って滞納整理をすすめる」と発言しました。しかし一方で、京商連から「市町村での分納約束は税機構にも引き継がれるのか」との質問に、「構成団体が約束したものをまったく無視することはない」が「約束内容が非常識な分納に対しては調査もし、新たな提案をする」と徴収強化ともとれる発言もあり、今後法律と納税者保護を厳格に守るよう求めていきます。

[さこ祐仁]

## 地球温暖化対策

国は中期目標二五%削減の明確化を  
京都議定書採択の地、府は野心的目標掲げよ

地球温暖化対策について、さこ議員は、「全人類の課題であり、先進国が果たすべき役割は明確」として、鳩山内閣が、温室効果ガス二五%削減目標は「すべての主要排出国の参加が前提」と条件を付けていることは、前進を阻む態度だと批判。「知事も、アメリカが参加しなければ、日本は二五%削減しなくてもいいという考えか」と迫りました。

知事は「米国、中国の参加がなければ絵に描いた餅」と、政府の態度を容認する姿勢を示しました。

さらに、さこ議員は、府としても企業と削減協定を結ぶこと、日本全体のCO<sub>2</sub>排出量を〇・六%も増加させる舞鶴石炭火電二号機建設中止、一号機稼働停止を関西電力に求めること、京都議定書採択の地として、中期目標を明確にし、二〇二〇年までに

三〇%以上削減する野心的目標を掲げること迫りました。

## 鳥獣被害対策

全庁的な対策本部  
設置と体制拡充を

次に、さこ議員は、農作物への被害が拡大している鳥獣被害について、「イノシシやシカの群れに入られて一反の稲を一晚でやられて」「谷筋では何を植えてもあかん、荒地ばかりだ」

私立高校授業料も  
無償化を

上原 ゆみ子 (京都市伏見区)



公立高校生の授業料が無償化されました。しかし、私立高校生の場合、府独自の実質無償化は年収350万円未満で直接補助制度ではなく、しかも府内の私立高校に通う高校生に限られています。

また、府の高校生給付型奨学金事業が創設されましたが、これまでであった制度と比べると金額が減らされ、対象は市民税非課税でなおかつ母子・父子・障害者・長期療養世帯と限られています。

授業料無償となってもこれまでから授業料免除を受けていた世帯では従来と同じです。修学旅行費の積み立てができなくて参加できなかった高校生が70人いたことを考えると、学用品などの補助として高校生就学援助のような制度が必要であり、さらに真の無償化が求められます。

「やる気がなくなってしまう。このままでは農業を続ける人がいなくなる」との農家の声を紹介。鳥獣被害による京都府の農作物の被害総額は、全国五位、近畿地方ではトップとなっていることを示し、「他府県より遅れている対策強化は急務」と指摘。全庁的な対策本部の設置を検討し対策予算と体制を抜本的に拡充すること、「京都府特定鳥獣保護管理計画」のシカの捕獲数を再度見直すこと、さらに狩猟期間の見直しや狩猟免許取得や猟銃保管への助成を直ちに具体化することを求めました。

農林水産部長は「免許取得や猟銃保管への助成、狩猟期間の見直しは、猟友会と相談を始めており、実現に努める」と答弁しました。

## 京都地方税機構議会の審議

### 暮らしを脅かす徴税強化は行なうな 京都地方税機構議会で、まえくぼ義由紀議員が一般質問



「断固たる滞納処分の実施」、「徴収率の向上」を掲げて京都府と市町村（京都市をのぞく）で発足させた京都地方税機構。4月からの本格業務実施を前に開催された2月28日の地方税機構議会で、まえくぼ義由紀議員が一般質問に立ち、府民の不安を代弁して、連合長（山田啓二府知事）の姿勢をただしました。

#### 住民への説明責任を果たせ

まえくぼ議員は、「しがらみのない徴収というが、しがらみがあるからこそていねいな徴収がはかれる。徴収強化ばかりだと徴収マシンだ」、「国保料まで税機構に送るのは問題だ。命にかかわる」など、地方税機構を考える交流集会で出された心配の声を紹介し、「これまでパブリックコメントも、住民説明会も実施されていない。説明責任を果たせ」と強く求めました。

#### 滞納者の実情を十分把握して、 ていねいな対応を

また、まえくぼ議員は、「滞納者の多くは、払いたくても払えない状況にある」として、支払い能力のある滞納者とない滞納者を明確に区別して対応し、一律に悪質滞納者扱いにしないこと、そのためには滞納者の実情を

十分把握することが必要と指摘しました。

さらに、「払いたくても払えない滞納者の中には、地方税が滞っているだけではなく、倒産や失業、病気などで生活困難に陥り、家賃、公共料金なども払えず、生活維持そのものが困難な場合も少なくない」として、生活保護へのつなぎや多重債務解消への支援など、税機構の窓口でこそ、ていねいな対応が必要、と求めました。

#### 徴収猶予の徹底など、 「納税者の保護」を厳格に守れ

まえくぼ議員は、法で定められている納税者の保護を厳格に守り、窓口で徴収猶予の申請書を置くなど徹底すること、「まず差し押さえありき」のような滞納処分は行なわないことを強く迫りました。副連合長は「法に則って行なっていく。徴収猶予の制度についても親切な説明を行なっていきたい」と答弁しました。

また、まえくぼ議員は、京都府では「滞納処分の停止に関する生計費需要額」（3人世帯で213万円、4人世帯で255万円。これに家賃、教育、医療、児童養育費が加算される）が定められているが、税機構でも最低限この制度を適用し、4月までに滞納処分の執行停止の基準を明確にすることを求めました。

### 「京都地方税機構」が業務をスタート 許すな徴税強化、守ろう納税者の権利



まえくぼ 義由紀（宇治市・久御山町）

府・市民税等の滞納処分を行なう広域連合「京都地方税機構」が設立され、4月から業務を本格実施しています。

派遣などの広がりや、年収200万円以下の「ワーキングプア」が1千万人を超え、高齢者控除の廃止、定率減税の縮減など納税義務者の拡大、低所得者世帯、高齢者世帯への課税強化等もあり、納税困難者が増えています。

私は、連合長である山田知事に、失業、倒産、病気などで「税金を払いたくても払えない状況にある方」と「支払い能力のある滞納者」を一律に「悪質滞納者」として、差し押さえの強行等があってはならないと求めました。

強権的な税務行政にならないよう、十分監視することが必要です。

### デジタルテレビなどの購入は 地元中小企業に発注を



梅木 のりひで（京都市左京区）

府立学校に地デジ対応のテレビなどを購入する入札で、京都府は一括して東京に本社がある大塚商會に発注した。政府が経済対策として実施した事業である。福岡県などが、地元中小業者に発注する手立てをとっている例を紹介し、先の予算特別委員会で「入札の中止」を求めたが、部長と知事は「WTO協定に反する」と拒否した。福岡県とは大違いだ。京都府電機商業組合の役員さんがそろって京都府に是正を申し入れ、知事選挙でも問題になった。左京区内の電気店を訪問して、経過を報告したが、みなさん「行政が地元中小業者を守ってくれなければ」と訴えておられた。6月議会では、地元中小業者を支援するよういっそう強く求めていく。

予算特別委員会  
知事総括質疑

3月5日

西脇 いく子議員  
(京都市下京区)



## 公立も私学も、すべての高校生に 平等な修学保障を

西脇いく子議員は、経済的理由で通学や進学をあきらめる事例が相次いでおり、子どもたちの修学の保障は、日本の未来に関わることで、公立高校無償化が今年度から実施されたことは大きな前進だとした上で、府の支援制度の問題点を指摘しました。

知事が、全国トップクラスと自慢する「私立高校生授業料の実質無償化」については、①その対象が、私学に通う生徒のわずか三%の八百人程度しか対象にならない。②府外の私立高校に通う子どもをも制度の対象としていない。③私学の負担が伴うため、希望者全員が対象とならない等の問題があり、せめて対象を年収五百万円未満世帯、府外の私立高校生も対象とし、直接助成ですべての希望者が受けられる

## 質疑を終えて

知事選でも大きな争点になった高すぎる国保料の問題がますます深刻さを増しています。保険料が払えないために資格証になるだけでなく、わずかな年金などの財産が差し押さえられる事態が京都市をはじめ、府内でも起こっており、その世帯数は1,600を超えていることが2月議会の常任委員会で判明しています。

国も府も「払えるのに払わないことが証明された人以外は慎重にお願いしている」と返答しているにもかかわらず、資格証や財産差押えは、増える一方です。命を守るはずの国保が命を奪うことのないようにするため、さらにながらびます。

〔西脇いく子〕

ようにすべきと求めました。

また、公立高校も無償化されたもののクラブや修学旅行等、二・三十万円の授業料以外の負担も必要であり、住民税非課税の母子・父子、障害者世帯と極めて対象が限定され、しかも、実質年間六万円だけという京都府の給付制奨学金を、低所得世帯を対象とし、給付額も引き上げるべきだと求めました。

知事は、「手厚く対応している」と問題点の改善を拒否しましたが、今後とも、実施状況は勘案して、支援制度の検討は進めていきたいと答えました。

## 払えない国保料

### 市町村国保への独自補助の復活を

西脇議員は、府内各地の自治体で国保料の引き上げが行なわれ、払いたくても払えない状況はひどくなる一方だとし、国の負担を元に戻すよう国に働きかけるとともに、知事が就任時に七億円あった府の市町村国保への法定外の助成金が、今はゼロ、府民の負担を軽減するために助成を復活すべきだと指摘し、知事の姿勢をただしました。

## 予算特別委員会書面審査 ● 主な質問項目

### 知事直轄組織

非正規職員の労働条件  
職員の休務状況・超過勤務の実態

### 総務部

適正な下請け契約の点検体制  
小規模工事希望者登録制度  
公契約条例の制定  
地方税機構（差し押さえ禁止額公開等）

### 政策企画部

府民満足度プラン（官制ワーキングプア）  
地デジ受信障害対策  
国への予算要望先の問題  
木津川市の大仏鉄道の現状保存

### 府民生活部

消費生活安全センターでのヤミ金相談  
舞鶴港への核積載可能米軍艦船寄港問題  
市町村での消費者相談窓口設置状況  
消費者団体の育成・支援と連携強化  
同和奨学金返済肩代わり問題

### 文化環境部

温暖化防止十年目標の達成・中期目標  
舞鶴火電二号機の温暖化ガス排出量  
大型店の温暖化ガス排出削減対策  
太鼓山風力発電の赤字問題  
国の私学助成上積み分の保護者負担軽減

### 健康福祉部

無料低額診療事業  
くらしの資金貸付制度の存続  
高校生給付型奨学金支援事業の対象拡大  
肝障害・肝硬変の障害手帳の交付  
肝炎治療の指定医確保・医療費助成制度  
福祉人材の確保・処遇改善  
民間施設職員の処遇改善事業の復活



## 予算特別委員会 知事総括質疑

3月5日

松尾 孝議員  
(京都市伏見区)



## 「合併おしつけ」で地域は疲へい 府の責任は重大

松尾孝議員は、市町村合併の押しつけの中で、京丹後市では合併前千一人いた職員は七百九十五人に激減。旧久美浜町役場は、百人以上いた職員は十一人になり住民サービスが低下。「合併してよくなったことは一つもない」との住民の声を紹介し、京都の市町村合併を強行・推進してきた知事の責任を厳しく追及しました。

知事は、「財政上のメリットは大きい」「どう生かしていくかは、市町村の自主的判断」と無責任な答弁に終始。

松尾議員は、「職員数が減って、財政力が強くなったと言うが、十年経てば、算定替や激変緩和措置も終わり大変なことになる」と知事の姿勢を厳しく批判しました。

## 地域経済守れ トステム問題、デジタルテレビ入札で追及

次に、松尾議員は、トステム綾部工場閉鎖問題について、党議員団のアンケートに寄せられた「退職届を出さないと、退職金を減額する、解雇すると言われた」「会社が就職を斡旋しているとは思えない。未だに何の連絡もない」等の声を紹介。閉鎖を止めさせる手立て、再就職への緊急対策を求めました。知事は、「一企業の個人への支援は難しい」と冷たい答弁を行ないました。

松尾議員は、「トステムは府が誘致した企業。二百四十二億円もの経常利益を上げている。府として一人の労働者も路頭に迷わせないために緊急雇用対策を打て」と強く求めました。

最後に、松尾議員は、府立学校のデジタルテレビ入札について、府が百九十一台を一括入札し、東京の大手企業が落札した問題について、「振興局や教育局単位での分割入札をなぜやらなかったのか」と質問。地元中小業者へ仕事をまわさないような姿勢では、府民のくらしは守れないと厳しく批判しました。

## 「京都議定書」の地、 京都にふさわしい温暖化対策を

京都府はいま「新環境基本計画」を検討中です。温暖化対策のCO<sub>2</sub>削減中期目標決定が中心問題ですが、世界主要国の共通目標となっている「50年80%削減目標」にむけて、「20年25%以上」と「30年40%」の二つの案が出されているようです。

しかも、排出権購入や森林吸収を除く実質削減、いわゆる真水で達成しようという積極的な内容とのことで、前進です。

問題は中期目標として「20年目標」の位置づけを明確にし、「30年目標」に先送りしないことです。地球全体で1年も早いピークアウトを実現し、削減スピードを速めることが必要なのです。

また、府民全体の協力が求められており、市町村の対策強化が必要との議論も大いに歓迎されるところです。

「京都議定書の地、京都の使命感」を強調される担当者の思いは同感であり、府がその役割を果たせるよう頑張る決意です。  
[松尾 孝]

### 商工労働観光部

商工会・商工会議所等の補助金の拡充  
計量検定所の体制  
公共調達での中小企業支援策  
国の職業訓練センターの存続  
府の職業訓練校の定員削減問題  
ワンストップ就労生活相談での生保申請

### 農林水産部

鳥獣被害対策の強化  
国の戸別所得補償政策の問題点  
水田利用自給力向上事業  
新規就農支援事業の拡充  
ナラ枯れ対策

### 建設交通部

舞鶴港の振興・港湾計画の抜本見直し  
畑川ダム建設中止、京丹波の新規水源  
府民公募型公共事業の地域経済への影響  
下請け契約での関係法令遵守の点検体制  
住宅の耐震化と住宅改修助成制度の創設  
府営住宅の新築着工

### 教育委員会

教職員の超過勤務実態の改善  
教育施設の耐震改修と小規模改修  
高校修学支援制度創設、通学費補助制度  
包括外部監査（総合選抜の存続等）  
北部の高校再編の中止

### 人事委員会

非正規職員の職務実態の調査

### 監査委員

府営水道供給料金設定への監査要望  
府の裏金問題・今後の監査

### 警察本部

風俗無料案内所規制条例制定の進捗状況  
と違法客引きの取り締まり  
公安委員会活動の広報

## 議案討論

3月12日

梅木 のりひで議員  
(京都市左京区)府民のくらしと営業を守れ！  
問題点を指摘し、一般会計予算案に反対

梅木のりひで議員は、提案されている六十一件の議案のうち、一般会計予算案、流域下水道事業特別会計予算案、水道事業会計予算案の三件に反対し、他は賛成する立場から討論を行ないました。

一般会計予算案について、梅木議員は、国民に格差と貧困の拡大を押しつけてきた自公政権が退場して半年、民主党政権にも失望が広がっている中で、府政には府民のくらしと営業を応援する施策が求められているが、予算案はそうならないとして、五つの問題点を指摘しました。

第一に、中小業者への支援の問題は、鳩山首相でさえ「町工場は日本の宝。支援を検討したい」と言っているのに、知事は固定費補助や、仕事おこしにつながる住宅リフォーム助成創設に背を向け、商工会議所・商工会への補助金を今回も削減しています。「スクールリニューアル事業」のデジタルテレ

ビ発注で、地元中小企業育成の趣旨に反し、一括入札を強行して大手に落札させた問題も重大です。

第二に、トステム綾部工場の撤退、ジャトコの違法な派遣切りなど、雇用や地域経済をかえりみない大企業に対して弱腰で、社会的責任を果たさせていない問題です。

第三に、教育保障の問題では、世論の広がりでも高校授業料無償化が前進したが、府の制度では府外の私学に通う高校生は対象外にするなど、きわめて不十分なことです。

第四に、かつて七億円あった市町村国保への府の独自補助をゼロにして国保料値上げに拍車をかけ、子どもの医療費無料化拡充に背を向けている問題です。

第五に、梅木議員は、畑川ダム建設、天ヶ瀬ダム再開発などムダな事業は継続している問題を指摘し、反対する理由を明確にしました。

最後に梅木議員は、「いのちの平等」を掲げる府政の実現に全力をあげる決

意を表明しました。

## 意見書・決議案討論

3月12日

山内 よし子議員  
(京都市南区)府民のいのち・教育の平等、福祉の拡充  
派遣法抜本改善へ意見書・決議に賛同を

意見書・決議案の討論は、党を代表して山内よし子議員が行ない、自民・民主・公明・創生提案の「保育制度に関する意見書案」は国の保育所最低基準の撤廃を容認するものであり反対し、共産党提案である他の七意見書案、四決議案すべてに賛同を求めました。

二月議会には、国民健康保険への国庫負担と京都府から市町村への補助増額を求める請願や子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願、子どもと高齢者の医療費無料化・軽減を求める陳情、福祉医療制度の対象拡大を求める陳情などが提出されました(P11参照)。

日本共産党は、府民の請願や陳情などに応え、国保料引き上げを抑えるため、国庫負担率の引き上げを求める意

見書や京都府の補助金復活を求める決議案、子どもの医療費助成の拡充を求める意見書・決議案などを提案しました。その中で山内議員は、予算特別委員会などで、市町村国保への補助金復活に関し、知事が「市町村が対応すべき」と、府民の痛みを心寄せない冷たい答弁を行なったことを強く批判しました。

来年度から実施される国の公立高校授業料の無償化と私立高校生への支援に関しては、私立高校生の授業料負担が残ります。この問題では、知事が助成を打ち切った府外に通う私立高校生を再び対象とし、学校の事情によって減免が受けられない生徒を生まないために学校負担をなくすことなどを求めた決議への賛同を求めました。

## 京都府議会 2月定例会閉会本会議（3月12日）での請願の審査結果

請願名	請願者	紹介議員 会派	審査 結果	共 産	自 民	民 主	公 明	創 生
国民健康保険への国庫負担と京都府からの補助増額を求める請願 ほか2件、同趣旨	全京都生活と健康を守る会連合会 代表者 平本克行	共産	不採択	○	×	×	×	×
国民健康保険への国庫負担と京都府からの補助増額を求める請願	京都府商工団体連合会婦人部協議会 会長 水野恵美子	共産	不採択	○	×	×	×	×
国民健康保険への国庫負担と京都府からの補助増額を求める請願	京都自治体労働組合総連合 執行委員長 山村隆	共産	不採択	○	×	×	×	×
国民健康保険への国庫負担と京都府からの補助増額を求める請願	医療と国保を良くする京都府・市民の会 代表者 西村英弥	共産	不採択	○	×	×	×	×
国民健康保険への国庫負担と京都府からの補助増額を求める請願	協同組合京都府商工業者連盟 理事長 田口克己	共産	不採択	○	×	×	×	×
国民健康保険への国庫負担と京都府からの補助増額を求める請願	京商連共済会 代表者 久保田憲一	共産	不採択	○	×	×	×	×
子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願	新日本婦人の会京都府本部 会長 森下総子	共産	不採択	○	×	×	×	×

●2月議会に提出された陳情の一部を紹介します。

- ・子どもと高齢者の医療費無料化・軽減に関する陳情（「子どもと高齢者の医療費署名」実行委員会）
- ・福祉医療制度の対象拡大に関する陳情（京都府保険医協会）

## 京都府議会 2月定例会閉会本会議（3月12日）での意見書・決議案の採決結果

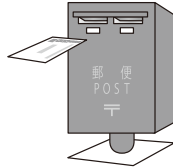
意見書案名	提出会派	採決結果	共 産	自 民	民 主	公 明	創 生
現行保育制度の拡充を求める意見書案	共産	否決	○	×	×	×	×
保育制度に関する意見書案	自民・民主・公明・創生	可決	×	○	○	○	○
国民健康保険への国庫負担率の引き上げを求める意見書案	共産	否決	○	×	×	×	×
子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求めることに関する意見書案	共産	否決	○	×	×	×	×
子どもの医療費助成の拡充を求める意見書案	共産	否決	○	×	×	×	×
30人以下学級の早期実現を求める意見書案	共産	否決	○	×	×	×	×
労働者派遣法改正案の抜本的修正を求める意見書案	共産	否決	○	×	×	×	×
国民健康保険料（税）値上げを抑えるため市町村への財政支援を求める決議案	共産	否決	○	×	×	×	×
子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求めることに関する決議案	共産	否決	○	×	×	×	×
子どもの医療費助成制度の拡充を求める決議案	共産	否決	○	×	×	×	×
私学授業料の無償化に関する決議案	共産	否決	○	×	×	×	×

○：賛成、×：反対

共産＝日本共産党議員団 自民＝自由民主党議員団 民主＝民主党議員団 公明＝公明党議員団 創生＝京都創生フォーラム

## みなさんの声をぜひお寄せ下さい

府民のみなさんとの対話を進めるために、11名の各議員の府議会報告リーフ（2010年5・6月号）を作成しました。お手元に届きましたら、アンケートハガキも付いていますので、みなさんの声をぜひお寄せ下さい。



沖縄・普天間基地  
包囲行動に参加

5月16日、沖縄・普天間基地包囲行動に府会議員団を代表して、さこ議員が参加しました。（写真は翌日の沖縄タイムス）



### 新井 進

議員団団長  
警察常任委員会  
「関西広域連合（仮称）」  
に関する特別委員会



### まえくぼ義由紀

議員団副団長  
議会運営委員会理事  
総務常任委員会  
防災・暮らしの安心安全  
対策特別委員会



### 梅木のりひで

議員団副団長  
建設交通常任委員会  
地球温暖化対策特別委員会

## 5月 臨時議会



5月11日～14日

\*議員団の新しい  
委員会所属が決  
まりました。



### みつなが敦彦

議員団幹事長  
議会運営委員  
府民生活・厚生常任委員会  
「関西広域連合（仮称）」  
に関する特別委員会



### 松尾 孝

農林環境常任委員会  
地球温暖化対策特別委員会



### かみね 史朗

議会運営委員  
商工労働観光常任委員会  
地球温暖化対策特別委員会



### 原田 完

商工労働観光常任委員会  
防災・暮らしの安心安全  
対策特別委員会



### 山内 よし子

文教常任委員会  
少子高齢社会・青少年  
対策特別委員会



### 西脇 いく子

府民生活・厚生常任委員会  
京都再生・ブランド戦略  
特別委員会



### 上原 ゆみ子

文教常任委員会  
少子高齢社会・青少年  
対策特別委員会



### さこ 祐仁

農林環境常任委員会  
京都再生・ブランド戦略  
特別委員会